

## 東海経済レポート（2013年2月）

～東海地域の景気は、持ち直しの動きを強めつつある～

経済調査室（名古屋）

### 1. 足元の経済情勢

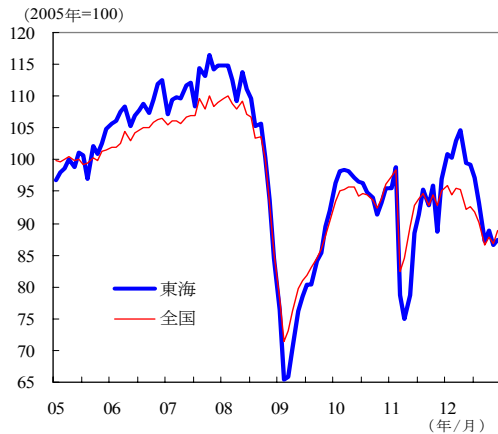
経済指標は景気底打ちを示し始めた

- ✓ 生産は、12月に前月比+1.0%と2ヶ月ぶりに増加した。主力セクターである輸送機械が5ヶ月ぶりにプラスへ転じた。
- ✓ 輸出は、12月に前年比▲2.2%と小幅なマイナスに転じた。アジア・EU向けの減少が続く一方、米国向けが3ヶ月連続のプラスとなった。
- ✓ 設備投資では、設備投資の先行指標である金属工作機械の国内受注額が、12月は前年比▲41.8%と7ヶ月連続でマイナス。
- ✓ 雇用では、12月の愛知県の有効求人倍率が1.09倍と6ヶ月ぶりに上昇した。他県も同様に上昇。
- ✓ 個人消費では、12月の新車販売台数が前年比▲1.1%と4ヶ月連続でマイナスになった一方、同月のスーパー・コンビニ等小売主要3業態は前年比+3.0%と好調。住宅着工は昨年6月を底に増加基調で推移。

### 2. 当面の注目点・リスク要因

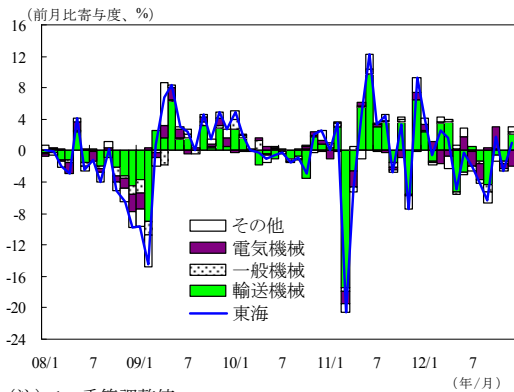
- ✓ 政権交代をきっかけに円高の修正や株高が進んでいることに加え、緊急経済対策の骨格をなす2012年度補正予算が比較的迅速に成立し、執行される見込み。これらがマインドの急速かつ大幅な改善をもたらしている。
- ✓ 当面大手スマートフォンメーカーの減産を受けて電子部品・デバイスの停滞が続く可能性が高く、自動車・同部品セクターが景気回復を牽引するとみられる。
- ✓ 引き続き、①アベノミクスに対する期待が剥落し、予想以上の円高、株安となるリスク、②日中関係が再び緊迫化するリスク等には、警戒が必要である。

**生産①** 12月の鉱工業生産指数は前月比+1.0%と2ヶ月ぶりに増加。



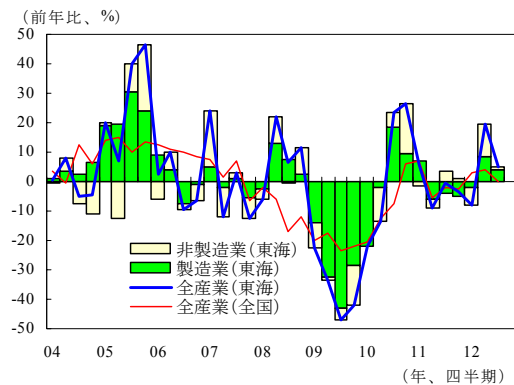
(注) 東海は愛知・岐阜・三重の3県  
(資料) 中部経済産業局「管内鉱工業の動向」等より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**生産②** 業種別では、輸送機械と一般機械は増加し、電気機械は減少。



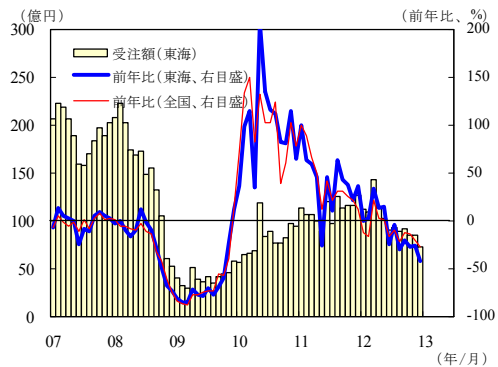
(注) 1. 季節調整値  
2. 東海は愛知・岐阜・三重の3県  
3. 電気機械は電子部品・デバイス等を含む旧分類  
(資料) 中部経済産業局「管内鉱工業の動向」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**設備投資** 7-9月期の資本金10億円以上の大企業の設備投資(除くソフトウェア)は、前年比+4.8%とプラス幅が縮小した。



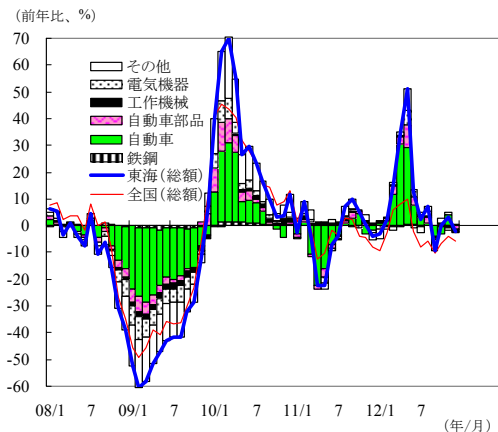
(注) 1. 東海は、愛知、岐阜、三重、静岡の4県  
2. 資本金10億円以上の企業を対象  
(資料) 東海財務局「四半期別法人企業統計調査」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**金属工作機械受注(国内)** 設備投資の先行指標である金属工作機械の国内受注額は、12月は前年比▲41.8%と7ヶ月連続で減少。



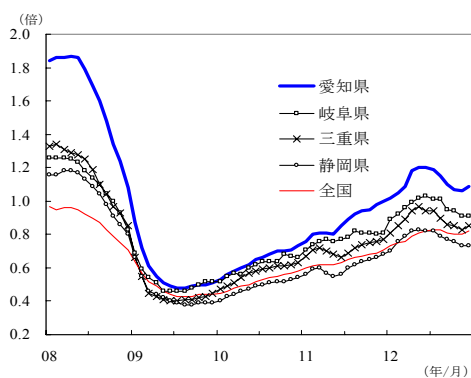
(注) 1. 東海は中部経済産業局管内の主要8社  
2. 受注額は当室による季節調整値  
(資料) 中部経済産業局「金属工作機械受注状況」等より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**輸出** 12月の輸出額は、前年比▲2.2%と再び小幅なマイナスに。



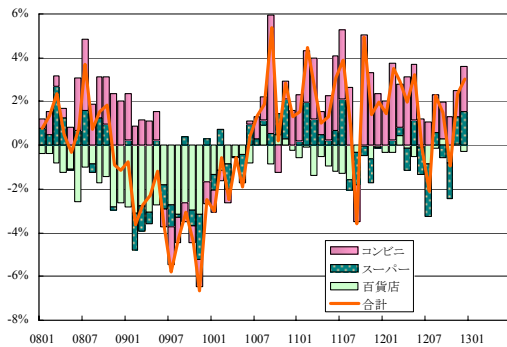
(資料) 財務省「貿易統計」、名古屋税関「管内貿易概況」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**雇用** 12月の愛知県の有効求人倍率は1.09倍と、6ヶ月ぶりに上昇した。他県も同様に上昇。



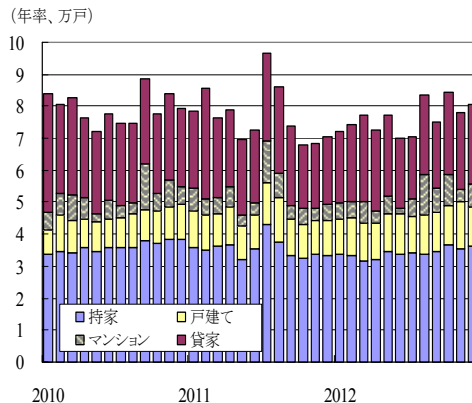
(注) 1. 有効求人倍率=有効求人数/有効求職者数  
2. 季節調整値  
(資料) 厚生労働省「一般職業紹介状況」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**個人消費** 12月の小売主要3業態の販売は前年比+3.0%と好調。業種別では、スーパーとコンビニの寄与度が高まった。



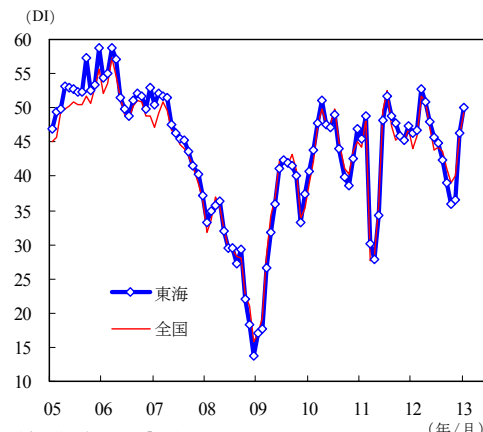
(注) 東海は愛知・岐阜・三重・富山・石川の5県  
(資料) 中部経済産業局「管内大型小売店販売概況」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**住宅投資** 12月の住宅着工戸数は年率換算で約8.1万戸と引き続き好調。



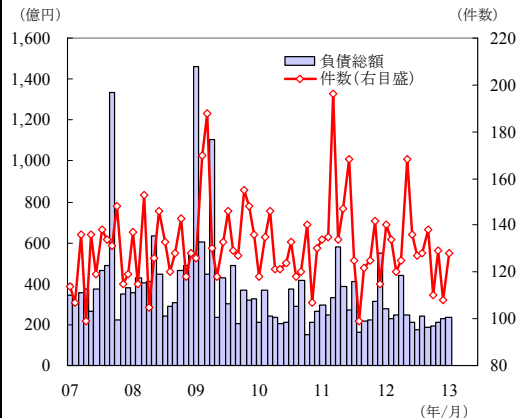
(注) 東海は愛知・岐阜・三重の3県  
(資料) 国土交通省「建築着工統計」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**景気ウォッチャー調査** 1月の景気現状判断DIは+50.0まで急上昇し、大震災後の最高水準近くまで改善。



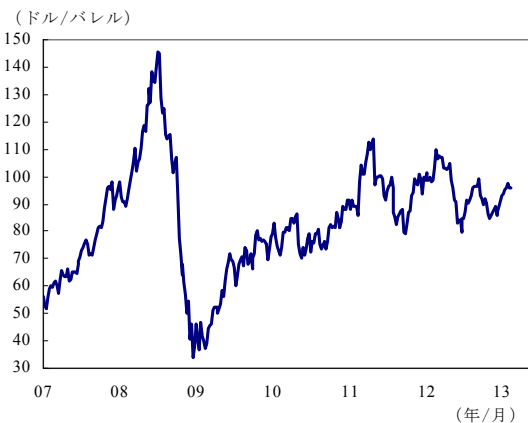
(資料) 内閣府「景気ウォッチャー調査」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**倒産件数** 1月の企業倒産件数は128件と増加(前年比で▲8.6%)。負債総額は同▲15.4%と減少。



(注) 愛知・岐阜・三重・静岡・長野の5県  
(資料) 東京商工リサーチ「倒産月報」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**原油価格** 米国の景気回復に対する期待を背景に、90ドル台後半で底堅く推移。



(注) 原油価格はWTI先物  
(資料) Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**円相場・株価** 円相場は、積極的金融緩和に対する期待を背景に、一時90円台半ば近くまで下落。株価は、デフレ脱却・円安等による企業業績の改善期待が高まり大幅上昇。



(資料) Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

(H25.2.20 富田 潤 jiyun\_tomida@mufg.jp)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。